

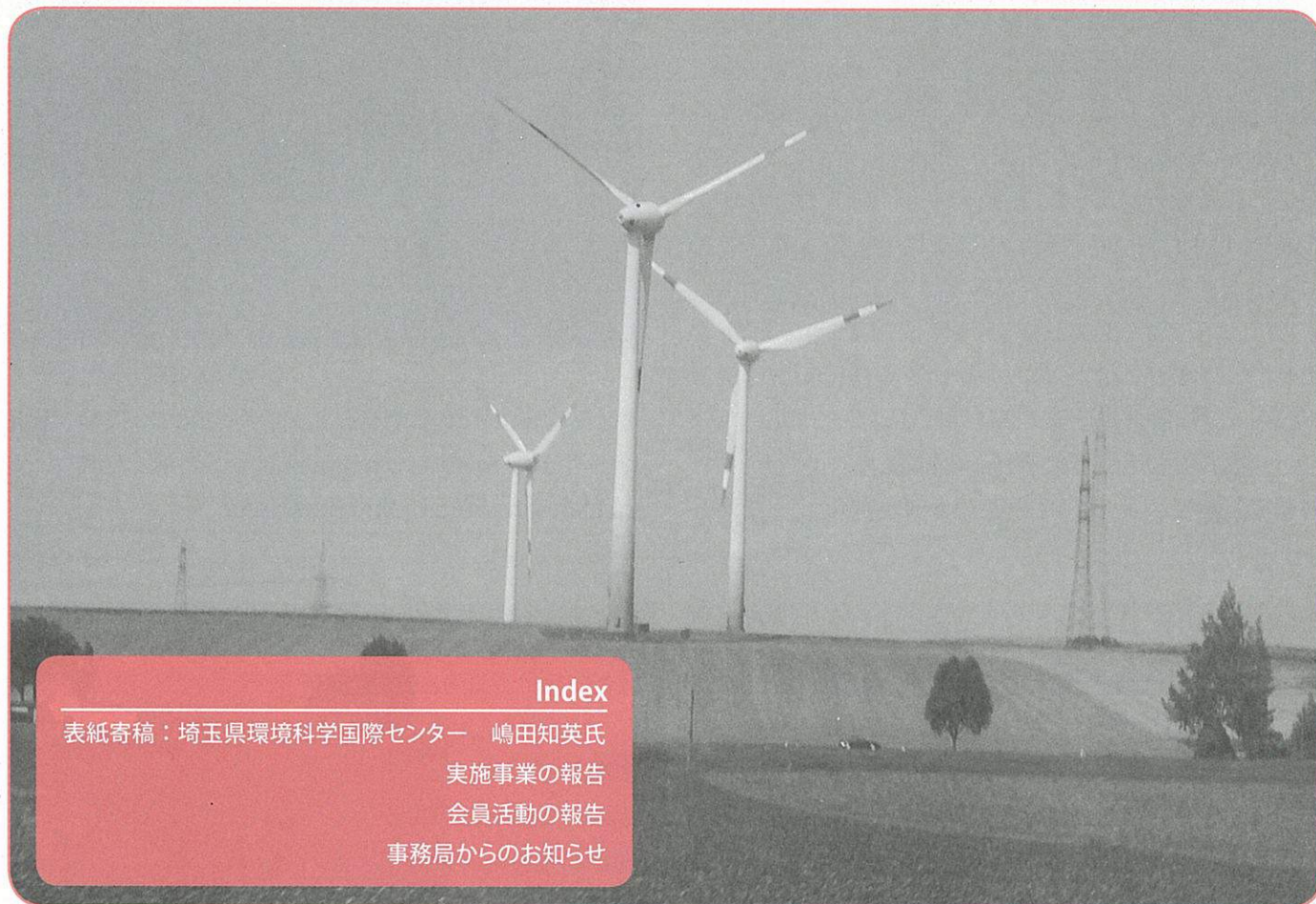
E・N・S通信

No.12



埼玉県地球温暖化防止活動推進センター

Saitama Center for Climate Change Actions



Index

表紙寄稿：埼玉県環境科学国際センター 嶋田知英氏
実施事業の報告
会員活動の報告
事務局からのお知らせ

風車のある風景（オーストリア・ウィーン郊外）

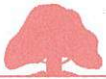


注目される温暖化適応策（賢い適応）

埼玉県環境科学国際センター 温暖化対策担当 主任研究員 嶋田知英

地球温暖化対策で最も有効で根本的な対策は、化石燃料の燃焼等により発生する温室効果ガスの排出量を削減し温度上昇を食い止めることで、「緩和策」と呼んでいます。京都議定書はまさにこの緩和策を実現するための国際的な取り組みです。省エネや、風力や太陽光発電など再生可能エネルギーの推進は代表的な緩和策の一つです。いま私たちが最も力を入れて取り組まなくてはならない温暖化対策はまさにこの緩和策だということは確かです。しかし、現在行われている様々な取り組みをもってしても完全に地球温暖化を抑えることは難しいとも考えられています。今後の社会のあり方によって予測は大きく異なりますが、IPCCによると2090年頃までには1.1℃～6.4℃気温が上昇すると予想しており、ある程度の気温上昇は不可避です。そこで必要となるのが、仮に温暖化がある程度進んだとしてもそのリスクを小さくするための対策です。この様な対策を「適応策」と呼んでいます。たとえば、高温耐性品種の育成や、熱帯性感染症に対するワクチンの開発、高潮防止堤防の見直しなどが代表的な適応策だと考えられています。また、適応策は緩和策に比べると地域で具体的に取り組むことが出来る分野でもあります。温暖化対策とは、どちらか一方の対策を行えば良いというものではありません。「緩和策」は重要ですが、それとともに「適応策」も同時に進めることが求められています。



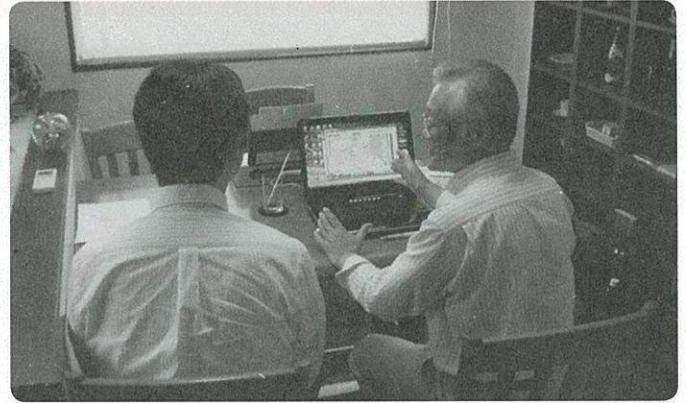


● 実施事業の報告

省エネ診断を実施しました

1 従業員向け家庭エコ診断

環境省が主催する首都圏の事業者の従業員家庭を対象とした「家庭エコ診断」を実施しました。本事業は、事業活動のCO₂削減・節電対策に加え、従業員の家庭での取組を推進することを目的としています。研修を受けて認定された7名の診断員が県内の事業所に出向き、専用のソフトを用いて診断を行いました。診断結果として、家庭でのエネルギー使用状況や各家庭に応じたCO₂削減・節電のために有効な対策、その費用や効果等に関する情報を提供しました。埼玉では、平成23年5月～平成24年1月の期間、合わせて28事業所、281名の方に診断を実施しました。受診者からは、「家族全体が省エネに対し意識するようになりました」「エコな生活ができていると思いこんでいたが、まだ改善できる点が多くあることが分かった」等といった声が

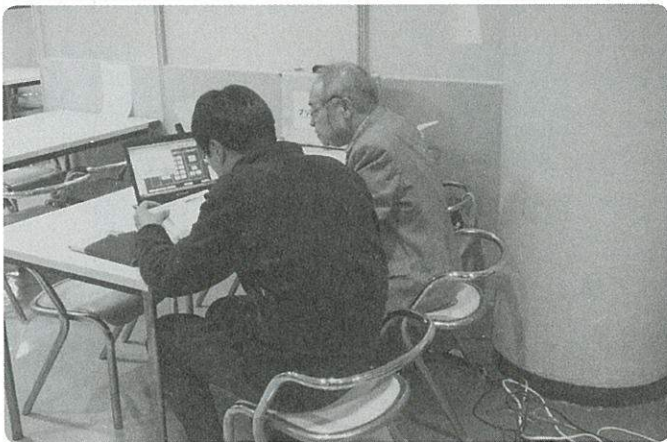


事業所での診断の様子

寄せられました。本事業全体の結果報告については、環境省HP (http://www.env.go.jp/earth/ondanka/uchi_eco/shindan/emp/result_2011.html) にて。

2 一般家庭向け家庭エコ診断「うちエコ診断」

平成23年度は家庭部門からのCO₂削減対策・施策を進めるため、環境省の委託により全国的に一般家庭向けの「うちエコ診断」が実施されました。当団体は埼玉地域事務局として埼玉県内及び周辺地域の診断のための窓口業務を担いました。埼玉では13人のうちエコ診断員が委嘱され、秋から1月中旬にかけて訪問、集団、窓口等の方法にて125件の診断を実施しました。併せて、HEMS設



診断の様子

置者向けの診断も89件実施し、短期間で200件を超える診断を行いました。また、受診者には後日、診断で提案した取組の実施状況について事後アンケートを行いました。「省エネ機器への買い替え（車、エアコン、給湯器など）」「窓をペアガラスに変更」「節水シャワーヘッドの導入」などを診断後に実行したとの声があり、CO₂削減に大きな成果を上げることができました。今後 機器の導入などを実行したいとの声も多く、さらなるCO₂削減効果が期待できます。



受診者募集チラシ



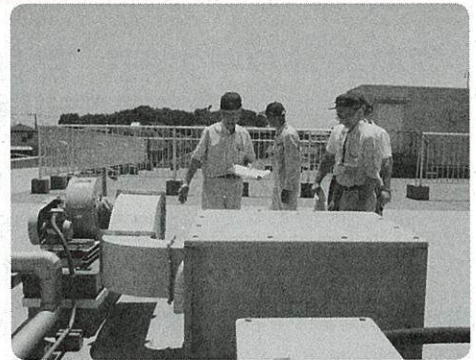


3 埼玉県省エネナビゲーターによる中小企業向け診断

埼玉県は、中小企業の省エネ対策を支援するため「埼玉県省エネナビゲーター事業」を今年度開始しました。当団体は、埼玉県の委託により中小企業向けの省エネ診断のための窓口業務を行いました。省エネナビゲーター制度は、あらかじめ県に登録された省エネ等の専門知識を有する省エネナビゲーターが、県内事業所からの要請に基づき事業所を訪問し、無料の省エネ診断を行うものです。当団体の会員も省エネナビゲーターとして多く参加しています。省エネ診断の結果は、省エネナビゲーターが診断レポートとしてまとめ、既存設備の運用改善や新規設備導入による費用対効果の予測、CO₂削減量の提示など、具体的な省エネ・省CO₂対策の実践を提案します。今年度は、6月から3月の期間、32事業所に省エネ診断を実施しました。受診事業

所からは、「大変参考になった。すべて実行すればCO₂削減、経費削減になると思うので、できるところから早急に実施したい。」

「新たに教えてもらうことが多く、社内に展開できてよかった。」といった声が聞かれました。平成24年度についても4月2日(月)より診断受付を開始いたします。詳しくは埼玉県庁HP (<http://www.pref.saitama.lg.jp/page/shouenenavi.html>) にて。



省エネ診断の様子

【省エネ診断の流れ】



低炭素杯2012が開催されました

平成24年2月18日(土)、19日(日)、東京ビッグサイト(国際会議場)にて低炭素杯2012が開催されました。全国各地で活動する学校・有志・NPO・企業などがそれぞれの活動を発表し



大袋東小学校の発表の様子

あい、交流を深め、連携の輪を広げていくことを目的としています。埼玉県からは、越谷市立大袋東小学校が、「自然・人・物との関わりを生かした環境教育と実践活動」と題し発表し、協賛・協力企業賞の最優秀地域エコ活動賞を受賞しました。大袋東小学校では、1995年より17年間にわたり、保護者や地域、行政、NPO、企業とともに実践を伴う環境教育を熱心に行っており、環境大臣賞等多くの受賞経験を有する小学校です。当日は子どもたちが寸劇を交え、環境の取り組みをプレゼンテーションしてくれました。

★ 事務所を移転します ★

この度、5月1日(火)より特定非営利活動法人環境ネットワーク埼玉の事務所を移転いたします。

【移転先住所】〒330-0074 さいたま市浦和区北浦和5-6-5 埼玉県浦和合同庁舎3階

【アクセス】JR京浜東北線「北浦和」駅西口より徒歩10分

【開館日】平成24年5月1日(火)より～

【開館時間】9時～17時(平日) ※土日祝日閉館

* 専用の駐車場はありませんので、公共交通機関でお越しください。

* 電話番号・FAX番号は変更ありません。(TEL:048-749-1217 FAX:048-749-1218)



● 会員活動の報告

環境ネットワーク埼玉 お日さまクラブ 太陽光市民共同発電所 3号機設置！ ～吉川つばさ保育園(吉川市)にて点灯式を開催～

鴻巣市の寺谷保育園の2号機に続き、今年度は吉川市の吉川つばさ保育園に太陽光市民共同発電所第3号機を設置しました。設置にあたっては、埼玉県内の市民や事業者、団体等より寄付を募り、138の個人・団体の皆さまからご支援いただくことができました。点灯式は、1月14日(土)に行いました。寄付者・関係者等50名が集まりました。

また、平成22年12月にNPO法人さやま環境市民ネットワークが東急入間川自治会館に、平成24年2月にNPO法人川口市民環境会議がNPO法人ほっとすてーしょんの運営する

心身障害者地域ケア施設にそれぞれ市民共同発電所を設置しました。このように、埼玉県内の市民共同発電所の取り組みは少しずつ広がりを見せています。



みんなの希望つばさ発電所(吉川つばさ保育園)

寄付募集中

↓埼玉お日さまクラブ特設HP



←寄付募集チラシ

埼玉お日さまクラブでは、次号機設置を目指し、幼稚園等の設置場所を募集しています。太陽光市民共同発電所を設置してみたいと思っている方、こんなところがいいのではと思われる方、是非ご連絡ください。また、引き続き寄付を募集していますので、ご協力をお願いします。詳細は、埼玉お日さまクラブ特設HP (<http://www.kannet-sai.org/ohisama/>) をご覧ください。



埼玉市民共同発電フォーラムを開催



フォーラムの様子

1月28日(土)、大宮ソニック市民ホールにて、第2回埼玉市民共同発電フォーラム～お日さまの恵みを電気に、そして私たちにパワー

で市民共同発電所のネットワークを実現し、さらに活動を大きく広げていくための情報交換や交流の場づくりを目的としています。太陽光市民共同発電所に関心のある市民や関係者等約60名が集まりました。おひさま進歩エネルギー(株) 原 亮弘氏をお招きし、「市民が取り組む自然エネルギーの普及促進」と題して講演いただいた後、市民共同発電所設置事例の報告、最後に「市民共同発電の展望と課題」について参加者と一緒にフロアディスカッションを行いました。

を！～を開催しました。このフォーラムは、昨年同様、県内

環境ネットワーク埼玉お日さまクラブでは、「お日さまの恵みを！市民共同太陽光発電所設置ガイドブック」を作成いたしました。この手引きは、市民共同太陽光発電所の取り組みをさらに広げるため、活動の意義や設置の進め方等について分かりやすくまとめたものです。ご希望の方は、送料210円分の切手を添えて事務局までご連絡ください。





第2回 低炭素まちづくりフォーラムin埼玉～つながろう 広がろう エコの環～

10月30日(日)、大宮ソニックシティにて第2回低炭素まちづくりフォーラムin埼玉実行委員会主催の、第2回低炭素



分科会の様子

まちづくりフォーラムin埼玉～つながろう 広がろう エコの環～が開催されました。昨年からスタートし、今年度は当団体にて事

務局を担いました。

基調講演として、東京工業大学大学院の本川達雄氏による「日本人はゾウなみのエネルギーを使う?!」の後、「くらしのエコ」「深夜化するライフスタイルの見直し」「生物多様性」「自然エネルギー」の4つのテーマに分かれて分科会が行われました。県内で環境活動に取り組んでいる約150名が集まり活発な議論が行われ、低炭素な社会づくり構築を目指した交流や情報交換の場となりました。参加者からは、「ライフスタイルの見直しについて意見を出し合い、いい勉強になりました」といった声が寄せられました。

団体賛助会員(企業)紹介

長谷川香料株式会社 深谷事業所

◆会社概要◆

代表者 : 常務執行役員 知野善明
(代表取締役社長:長谷川徳二郎)
所在地 : 埼玉県深谷市幡羅町1-13-2
(本社:東京都中央区日本橋本町四丁目4番14号)
設立 : 昭和36年12月
事業内容 : 各種香料(香粧品香料、食品香料、合成香料)、各種食品添加物及び食品の製造並びに販売と各品目の輸出入に関する業務

長谷川香料(株)深谷事業所、深谷工場は、『かけがえない地球を未来に引き継ぐことが人類共通の重要課題であることを認識し、総合香料メーカーとしての全ての事業活動において地球環境保全に配慮して行動します。』を環境理念に掲げています。深谷工場では、食品香料・香粧品香料・合成香料・食品添加物等、多品種の製品を製造しています。

省資源、省エネルギーを推進し廃棄物の削減及びリサイクルに努めています。環境活動の取り組みとして、社内組織の環境安全委員会を中心に省エネパトロールを実施し、2015年までにエネルギー使用量5%削減・温室効果ガス排出量6%削減を目指し活動しています。

深谷工場は、ボイラの天然ガス化を計画しています。ボイラのガス化は、2013年に実施予定でありこれによりCO₂排出量が従来の重油ボイラに比べ18%ほど削減出来ます。また、工場では、製造工程で発生する臭気対策として屋外に排出される臭気を、脱臭装置設備を経て排出しています。又、毎日臭気パトロールを行い工場敷地内及び敷地外の臭気濃度の監視測定を行い、近隣住民とのコミュニケーションを図っています。

東日本大震災から早1年経った宮城に行ってきました!

仙台市では復興に向けて街全体が動いていましたが、まだガレキ処理など後始末に追われ、復興へのビジョンが描けていないように感じました。まず仙台市のガレキの中間処理の現場を見せてもらいました。流された車や家電、畳、その他の木くずなどが分別され、それぞれ山のように積み上げられていました。日々、コンクリートガラが平均1,500t、解体木材や土砂などの混合物が平均1,000t運びこまれ、焼却炉で1日90tが処理されています。仙台市では、3年ほどで処理完了の予定のようです。一面原野となってしまった被災地を見ると、ガレキ処理を一刻も早く終え、未来に向かった街づくりへの着手が必要だと感じました。また石巻市は未だ街に被災のつめ跡が色濃く残っており、ガレキ処理も遅々と進んでいないようでした。津波でさらわれた荒野の中にポツンと残された廃屋を見ると、被災の生々しさを感じざるをえませんでした。二度とこのような悲惨な事態が起こらないよう、今回の震災を全国民が自分ごととして受け止め、今何をすべきなのかを問い直し、自ら行動することが求められているのだと感じました。

文責:秋元智子



ガレキ処理の様子



事務局からのお知らせ

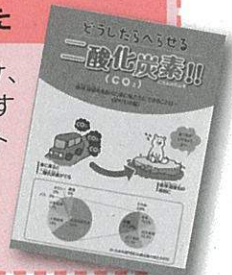
平成24年度「NPO法人環境ネットワーク埼玉」 総会のお知らせ

日時：平成24年6月16日(土)
場所：大宮ソニック市民ホール404

講演会も予定しています。講演会はどなたでもご参加できます。詳細は後日お知らせいたしますのでHP等をご確認ください。

カーボンオフセット子ども向け パンフレット・パネル 作成しました

日本郵便からの助成を受け、カーボンオフセットに関する子ども向けのパンフレット(A5)・パネル(A1、2枚組)を新しく作成しました。ぜひご利用ください。



中小事業者向け省エネ診断勉強会

環境ネットワーク埼玉では、会員の自主活動として、中小事業者向けの省エネ対策についての勉強会を開催しています。当団体の会員で、「埼玉県省エネナビゲーター事業」の省エネナビゲーターとして活躍している方を講師に、毎月1回開催しています。会員様はどなたでも参加できますので、ご関心のある方はぜひ事務局までご連絡ください。

★会員募集★

団体の活動を支援して下さる会員を募集しています!ぜひ私たちと一緒に活動しませんか?詳しくは事務局までお問い合わせください。

正会員(1口当たり)

会費種別	個人会員	団体会員(非営利)	団体会員(企業)
年会費	5,000円	5,000円	50,000円

賛助会員

会費種別	個人会員	団体会員(非営利)	団体会員(企業)
年会費	2,000円	2,000円	10,000円

スタッフからの一言



事務局長 秋元智子
夏に足を骨折してしまい、3か月入院をしました。皆様に心配をかけてしまいましたが、歩けるようになりましたので元気に頑張りたいと思います。



穴見誠一
もうすぐ二度目の事務所移転を迎えます。これを機に整理整頓ができるようにしなければ!と思っています。果たして結果は...?



渋谷可奈子
奥日光へ行ってきました。雪景色が幻想的できれいでした。温泉も入ってきました。やっぱり温泉っていいですね。



柳澤俊康
暖かくなってきたので、冬眠から覚め、ソフトボールにゴルフに畑に、休日は心地良い汗をかき、メタボの解消を図ります。



後藤正喜
硬式テニスをして運動不足を解消していきたいと思っています!!テニスが出る方、是非一緒にしましょう!!!



小森真紀
今年の冬は本当に寒く、冷え性の私はこたつから出られない毎日...電気代も上がりました。省エネしながら暖かく過ごす工夫を学びたいです★

■表紙の写真より■



ヨーロッパでは、地形が平坦で風向きが一定していること、高い市民の環境意識、買い取り制度等の公的な保護政策の充実等の理由により風力発電の導入が早くからさかんです。近年は、デンマークやドイツだけでなく、写真のオーストリアやスペイン等でも導入が進んでいます。

編集・発行

発行日 2012年3月31日
埼玉県地球温暖化防止活動推進センター／特定非営利活動法人環境ネットワーク埼玉
埼玉県さいたま市南区別所1-1-16
TEL: 048-749-1217 FAX: 048-749-1218 <http://www.kannet-sai.org/>
閉館日: 土・日、祝日 開館時間: 9時~17時

※ 2012年5月からは下記の住所に変わります。
さいたま市浦和区北浦和5-6-5 埼玉県浦和合同庁舎3階

